

障がい者アート事業

1. 事業実施団体

【一般社団法人COOD CREATORS（米子市）】（申請時：山陰ご当地フォント実行委員会）

障がいのある人とデザイナーが共創した作品を世の中に広めることにより、障がいのある人の工賃及び創作意欲を向上させ職業選択の幅を広げること、また障がいのある人も活躍できるダイバーシティ社会を目指すことを目的として設立された団体。デザイナーを中心に構成され、フォント（書体）作り、デザインパターン（図柄）作り、作品の販売や作品を用いた業務などを受託している。

2. 県の協働担当課

【障がい福祉課】

障がい者の地域社会における共生の実現、障害者総合支援法の円滑な施行、障がい児、障がい者の一貫した支援体制の構築などを推進する部署。障がいのある人の文化芸術活動拠点「あいサポート・アートセンター」（以下「アートセンター」という。）の設置による相談支援や情報発信をはじめ、「障がい者アート活動支援事業補助金」による創作活動の支援、障がいのある人の文化芸術作品に特化したバーチャル美術館「鳥取県立バリアフリー美術館」の創設による作品の発表機会拡大など、障がいのある人の文化芸術活動を推進するための環境づくりを進めている。

3. 課題及び目的

障がいのある人の文化芸術活動を推進する環境づくりは進んでおり、文化芸術活動を通じた障がいのある人の社会参加や県民の障がい理解が広がっている。一方で、福祉施設ごとに障がいのある人の絵などを活用したグッズ制作等に取り組んでいるものの、小規模で収益化のスキームが確立されていない施設が多い。アートセンターの障がい特性や施設の状況を理解したアート活動支援のノウハウと、事業実施団体の「デザインの力」や「営業力」が合わさることにより、新たなアート作品を生み出し、販売収益を福祉施設へ還元する事業スキームを確立することを目的とした。

4. 課題解決の手法

（1）フォント・パターンの制作

- ・福祉施設訪問、障がいのある人とデザイナーの関係づくり
- ・フォント、パターンの制作

（2）商品づくり、販路の開拓

- ・作品利用促進のための商品サンプルの制作
- ・作品や活動を周知するための常設展示・活動拠点の整備
- ・アート作品、事業を周知するためのイベントを開催
- ・作品展示会の開催



5. 主な役割分担

【事業実施団体】

- ・障がいのある人とデザイナーの協働によるフォント制作
- ・民間企業等とのスポンサー契約
- ・展示会の開催、イベントへの出展
- ・アート作品の販売 など

【行政】

- ・福祉施設・障がいのある人との関係づくり、作品づくりのプロセスなどに関する助言
- ・福祉施設の選定、連絡調整
- ・事業実施団体の取組の情報発信（県庁内2階フロアの装飾にアート作品を活用）
- ・販路開拓の支援



福祉施設での創作活動の様子

6. 取組と成果

（1）フォント・パターンの制作

- ・2カ年で福祉施設8カ所を訪問し、フォント（書体）6個、パターン（図柄）10個を制作した。
令和5年度：あかり広場、あゆみの郷、いるか、からふる、鹿野第二かちみ園
令和6年度：ソイスタンス、もみの木福祉会、十人十色
- ・通常の創作活動に参加して、障がいのある人一人ひとりとコミュニケーションを取りながら、作品の特徴をデザイン化する作業を行った。障がいのある人の自由で独創性のある作品とプロのデザイナーがタッグを組むことで、「新しいアート作品」を生み出すことができた。

- 商品等に採用されたデザインは、福祉施設・障がいのある人に報告し、喜んでいただくとともに、新たな作品づくりへの意欲向上につながった。



データとして完成したフォント・パターン(例)

(2) 商品づくり、販路の開拓

- 企業や地域の方に活動を広く知っていただくため、米子コンベンションセンターで自主企画イベント「キッズデザイナー大集合！」を開催（J A G D A鳥取地区共催）。約 270 名が来場した。
- 以下、3 会場でパターンパネルの作品展示を実施した。

1	にちなんふくしフェスタ2024
2	鳥取大学医学部付属病院ギャラリー
3	倉吉みらい中心

- ビジネスマッチング商談会に出展し、約 30 企業に活動を P R できた。
- 県主催のイベントでパターンを使った小物づくりのワークショップ及び商品サンプルを展示。各回 1 日 50 組×2 日で 100 組、計 300 組の方に障がい者アートに触れてもらうとともに、福祉関係者などに広く活動を周知することができた。
- 障がい福祉課の紹介により、ファミマプリントで障がい者アートシールの販売開始（令和 6 年 11 月～令和 7 年 1 月末）全国の約 16,000 店舗にて税込 550 円で販売され、92 枚を売り上げた。
- E X P O 2 0 2 5 大阪・関西万博の鳥取県スタッフの衣装（スカーフ）に採用され、全国に広く P R することができた。
- 販促用商品のサンプルとして、カレンダー、名刺、T シャツ、トートバックなどを制作した。



開催チラシ



商品サンプルの展示



大阪・関西万博の衣装に採用



販促用サンプル

7. 事業終了後の状況

- アートセンターと連携して新たな福祉施設へ訪問し、フォント・パターンを増やしている。
- 営業活動により自治体や企業等でデザインに採用され（下表参照）、販売収益が見込める状況にある。今後は大手企業にパターンを活用したノベルティの作成、ブランディングなどで採用してもらい、デザイン業務としての受注を目指す。また、営業代行などに協力いただける事業所とのタイアップを検討し、民間企業での採用強化を図る。
- 新たな商品開発などにより販売収益を上げ、継続的に福祉施設や障がいのある方へ収益が還元できるスキームの構築を進める。

	契約先等	内容
1	星取テラスせきがね	客室30室にパターンのパネル・クッションに採用。共有スペースにパネル展示。売上還元型の自動販売機(フルラッピングデザイン)の設置
2	第64回全国小児神経学会	ノベルティーグッズに採用
3	出雲スパイスラボ	パッケージに採用
4	鳥取県立美術館	ミュージアムショップで商品の委託販売
5	中国電力	オリジナルストラップに採用
6	山陰ビジネス 21(異業種交流会)	オリジナルストラップに採用
7	ファミリーマート	ファミマプリントに採用
8	あかり広場	着火剤パッケージに採用
9	ロイヤルホスト	期間限定メニューの敷き紙に採用